

参議院議員通常選挙結果

菊陽町選挙管理委員会 ☎096(232)2111

7月20日に執行された参議院議員通常選挙についてお知らせします。
町の投票率は61.17%(選挙区)で、前回(51.05%)より10.12%上がりました。また、期日前投票を行った人は10,070人(前回6,659人)で、全投票者のうち、47.91%を占めました。
各投票区での投票結果は以下のとおりです。

候補者別得票数(選挙区) (届出順)

当落の別	候補者氏名	本町における得票数	熊本選挙区における得票数
	たはな まさき 立花 勝樹	482	17,708
当選	ばば せいし 馬場 せいし	7,232	328,373
	やまくち せい たらう 山口 誠太郎	6,164	200,221
	かまた さとる	6,579	267,273
	合計	20,457	813,575

期日前投票者数(選挙区)

期日前投票所	投票者数
菊陽町防災センター	6,832
光の森町民センター	3,238
合計	10,070
前回 (令和4年7月10日)	6,659

政党別得票数(比例代表) (届出順)

届出政党等の名称	本町における得票数	届出政党等の名称	本町における得票数	届出政党等の名称	本町における得票数
日本共産党	489	チームみらい	377	公明党	1,838
日本維新の会	947	日本誠真会	115	NHK党	209
無所属連合	92	社会民主党	389	合計	20,549
日本保守党	1,001	れいわ新選組	1,357		
立憲民主党	2,611	日本改革党	13		
参政党	3,496	自由民主党	4,823		
国民民主党	2,601	再生の道	190		

※得票総数は政党などと名簿搭載者の得票数の合計
※按分による小数点以下の票数は切り捨てているため、合計は一致しません。

投票区別投票者数(選挙区)

投票区	行政区	選挙当日有権者数(人)			投票者数(人)			投票率(%)		
		男	女	計	男	女	計	男	女	平均
第1投票区	戸次・馬場楠・曲手・辛川・井口・道明	766	785	1,551	515	500	1,015	67.23	63.69	65.44
第2投票区	上中代・出分・中代・川久保	520	527	1,047	307	327	634	59.04	62.05	60.55
第3投票区	津留・大堀木・下原・津久礼ヶ丘・あさひヶ丘・宮ノ上・ひばりヶ丘・緑ヶ丘・緑陽台	3,501	3,339	6,840	2,030	2,048	4,078	57.98	61.34	59.62
第4投票区	上津久礼・下津久礼	729	791	1,520	445	485	930	61.04	61.31	61.18
第5投票区	沖野・三里木・三里木北・新山・北新山・境の松・新成・杉並台	3,250	3,282	6,532	1,959	2,072	4,031	60.28	63.13	61.71
第6投票区	武蔵ヶ丘1～6町内・8町内	774	1,055	1,829	394	549	943	50.90	52.04	51.56
第7投票区	光の森1～7町内・武蔵ヶ丘7町内	1,958	2,086	4,044	1,303	1,403	2,706	66.55	67.26	66.91
第8投票区	八久保・南八久保・花立・南花立・向陽台・にじの森	2,325	2,413	4,738	1,364	1,399	2,763	58.67	57.98	58.32
第9投票区	中尾・南方・光団地・駅前・向原・新町・新町西・馬場・柳水・入道水・古閑原・鉄砲小路・長塚	2,400	2,477	4,877	1,472	1,576	3,048	61.33	63.63	62.50
第10投票区	青葉台・東ヶ丘	694	662	1,356	436	432	868	62.82	65.26	64.01
	在外投票	10	17	27	3	1	4	30.00	5.88	14.81
	合計	16,927	17,434	34,361	10,228	10,792	21,020	60.42	61.90	61.17
	前回(令和4年7月10日)	16,685	17,506	34,191	8,417	9,038	17,455	50.45	51.63	51.05

※在外投票とは、海外で暮らす日本国民が在外公館や郵便などで投票する制度です。



県内自治体初！ 新たな地下水涵養「雨庭」の取り組み

環境生活課 環境生活係 ☎096(232)2114

この取り組みは、近年の大規模開発や工場進出に伴う土地開発により、田畑などの地下水涵養域の減少が懸念される中、本町は、熊本県立大学、熊本大学、(株)肥後銀行を含む6団体が主体として推進する「熊本ウォーターポジティブ・アクション」の趣旨・目的に賛同し、県内の自治体では初となる地下水涵養を目的とした雨庭を整備しました。



左から(株)肥後銀行 大野部長、吉本町長、県立大学 島谷教授、熊本大学 皆川教授



菊陽町造園協会の皆さんと吉本町長

特に、猛暑日や雨の中での作業となった菊陽町造園協会の皆様には、多大なご支援、ご協力をいただきました。

「熊本ウォーターポジティブ・アクション」とは

熊本地域の土地開発に伴う地下水涵養域が減少することへの影響を緩和するための取り組みです。地下水涵養とともに内水・外水氾濫の軽減などにも効果を発揮するグリーンインフラ「雨庭」の普及を通じて、地域の自然を守り、生かしながら、健全な水循環を維持し、豊かな生活と地域経済を支える「水の国くまもと」のさらなる発展を目指すものです。
本町もこの趣旨・目的に賛同し、役場本館の屋根の一部に降った雨水を側溝に直接排水することなく、一時的に貯留し、ゆっくり地下に浸透させる構造を持つ植栽空間「雨庭」を8月8日に整備しました。

多くの皆様のご協力により完成

整備に当たっては、(一社)熊本県造園建設業協会(熊本グリーンインフラ研究会)、菊陽町造園協会、熊本県立大学、(株)肥後銀行、熊本県のご支援、ご協力をいただきました。
本町の「雨庭」は、県内の在来植物などを用いた植栽空間とし、集水域の屋根面積は、約100平方メートルに対して、雨庭の窪地面積は約10平方メートル、最大深さ約40センチとなり、年間約204トンの雨水を地下に浸透させる構造になっています。